

平成30年10月23日（火）

第10回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 平成30年10月23日(火)午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委員 豊島 秀範  
委員 長谷川浩子 委員 足立 俊弘  
委員 蒲田 知子
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員  
教育総務部長 丸 智彦 生涯学習部長 木下登志子  
生涯学習部次長兼生涯学習課長兼生涯学習センター長兼公民館長 菊地 統  
学校教育課長 榑原憲樹  
指導課長兼小中一貫教育推進室長 羽場秀樹  
教育研究所長 土山 勇人 少年センター長 戸塚美由紀  
学校教育課主幹 藤岡 宏子 文化・スポーツ課長 小林由紀夫  
鳥の博物館長 鈴木 順一 図書館長 櫻井 實  
文化・スポーツ課主幹兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎  
総務課長補佐 飯塚直則
6. 欠席事務局職員 総務課長 森田康宏

午後2時00分開会

○倉部教育長 ただいまから平成30年第10回定例教育委員会を開会いたします。

本日の日程に先立ち、平成30年10月3日付で足立俊弘委員が再任されました。御挨拶をお願いします。

○足立委員 先般、2期目を教育委員として拝命いたしました。1期目をお務めするときには、子供がまだ1年生でございました。その子も今高学年になりました。1期目は保護者の視点というものを常に心がけながら我孫子の子供たちのためになるように精いっぱいお務めしてきたつもりですが、どの程度お役に立てたかどうかというのはじくじたるものがございます。2期目もさまざまな立場の方の御意見を賜りながら御指導いただいで、精いっぱい務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

---

会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。豊島委員をお願いします。

---

諸 報 告

○倉部教育長 日程第2、諸報告を議題とします。

まず、事務局から追加説明の申し出がありましたので、順次発言を許します。

初めに、市内小中学校音楽発表会ほかについて、事務局から説明をお願いします。

○羽場指導課長 御説明します。先日ですけれども、10月の頭、市内音楽発表会、それから市内陸上競技会大会に御参加いただきましてありがとうございます。

ました。

まず、市内陸上競技会大会なのですけれども、各校男女それぞれが非常によく頑張っておりまして、今回、小学校総合で5連覇ということになったわけですが、だんだん学校の差が狭まってきていることもあって、ことし新木小学校の横山校長先生もかなり焦っていたようですけれども、5連覇ということで非常に喜ばしい限りだったのですが、来年以降はもう少し考えていかないと難しいよねなどという話もされていきました。そういう形でこの学校も男女それぞれいろいろなところで頑張っている部分がありまして、本当によく頑張ってくれたなと思います。

それから音楽発表会なのですけれども、音楽発表会におきましても、どの学校も合唱、それから吹奏楽という形の発表の中で非常によく頑張っておりまして。御存じのように部活動の発表もありましたし、特設の合唱団であるとかそういう形もありましたけれども、その中で本当に子供たちはよく頑張っておりまして。講師の先生方からは、「年々レベルが上がっていますね」という評価もいただいております。これからも頑張っていかなければいけないと思うのですが、講師の先生方に終わってから反省会の中で御指導いただく場面があったのですが、その中で音楽というのは各学校でほとんどの学校が1人の先生しかいないという状況です。

それから部活動指導についても、ほかのところに比べると少ないという関係がありますので、小学校が中学校の部活動の指導について学びに行くとか、また、また小学校でも得意とする先生もいらっしゃいますので、そういう場面を見るとか、そういうことが必要なのではないかというアドバイスをいただきました。

そういうことも受けまして、今、音楽科の部会と担当の校長先生のほうで相談をしております、来年度、音楽科の担当の先生方が集まる研修会を開く

中で、例えば合唱指導であるとか、そういうことについての研修会を設けていきたいということで進んでおりまして、来年度に向けてその研修会に設けて、今働き方改革が言われていますので、なかなか難しい部分ではございますが、やはり必要だということで、研修会の開催に向けてということで、アドバイスを受けながら進んでいるところでございます。

続きまして、先般10月20日（土曜日）、東葛飾中学校駅伝競走大会が開催されました。今年度は松戸を出発いたしまして野田がゴールという形であったのですが、前半のほうはいろいろな学校が重なって、特に前半のほう是我孫子の学校名が一番上にないというときもあったのですが、途中からだんだん状況が変わってまいりまして、最終的には白山中学校が優勝という形で、白山中学校はここ6年間で5回優勝しているという状況になります。我孫子中学校も、昨年度は白山中学校断トツで1位だったのですが、ことしは本当に見てわかるように差が15秒という形ですから、そういう状況でだんだん縮まってくる部分がありました。

それから湖北中学校も、実は競技場に入るまでは3位だったということでお聞きしているのですが、最終的に抜かれてしまったのですが、非常にいい走りをいたしました。久寺家中学校は5位、それから湖北台中学校、昨年度はこの表で行きますと右側のほうにいたのですが、大躍進をいたしまして17位。それから布佐中学校のほうも子供が少ない中でも30位入賞ということで、6校の学校は非常によく頑張ってくれまして、来年度以降につきましても、頑張ってくれるかなと思います。

この後、葛南駅伝の結果を受けまして、県駅伝、もしかしますと、その後、関東とか全国につながってくると思うのですが、この後もぜひ頑張っていたければと思います。以上になります。

○倉部教育長 ありがとうございます。以上3点について報告がありました。

ただいまの件について何かご意見あるいは御質問があれば。——よろしい  
でしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 それでは、続きまして、旧武者小路実篤邸の特別公開について、事務局の説明をお願いします。

○小林文化・スポーツ課長 お手元にお配りしました資料にもありますが、1月10日と11日の日に旧武者小路実篤邸の跡を特別公開いたします。所有者の御厚意により特別公開いたします。

これは10月16日の8時半から受け付けを開始しました。当日は8時半受け付けにもかかわらず朝7時ごろから電話が鳴りっ放しの状態でかなりの関心があり、11時には540名分の定員が全部埋まってしまいました。その後も数日間、100件程度お問い合わせがあるような状態でしたので、今後また所有者のほうと協議して、こういう機会を持っていただけないかということ交渉していきたいと思っています。ぜひ、教育委員さんにもごらんいただければと思いますので、また後で御案内させていただければと思います。よろしく  
お願いします。

○倉部教育長 教育委員の皆さんが望めば時間の調整をとっていただけると  
いうことでよろしいですね。

ということですので、ぜひ興味のある方は——それ以降も何回かチャレンジしたい  
と思いますので、よろしくお願いします。

ただいまの件について何か御質問あるいは御意見等ありますでしょうか。  
——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 それでは追加の報告は以上とします。

これより事務報告に対する質疑に移ります。質疑があればこれを許します。

いかがでしょうか。

○長谷川委員 5ページの指導課、4番目「我孫子市小中学校科学作品展」のところで、毎年すばらしい作品、研究を見せていただいています。小学校に入学してからずっと継続している研究や、身近な物を調べてよくまとめたものがたくさんありました。期間がすごく短くて、2日間というか1日半という短い期間ですけれども、会場がアビスタということで多くの方がいらっしやっているように思います。こういうすばらしい作品が見られる場ですけれども、どのような方が見学にいらしているかとか、アンケートなどありましたら教えてください。

○羽場指導課長 お答えします。人数はそこに出ておりますけれども、保護者の方が非常に多いということが挙げられます。あと、会社関係の方も来られていまして、多分子供たちがつくっているものについて興味を持っていらっしやるのかなど。県に行くともう少し多いみたいなのですけれども。やはり多くの保護者、特におじいちゃん、おばあちゃんが来ていただいて、お孫さんの作品を見て、その場にずっといて記念撮影をされているという場面もありましたけれども、本当に子供たちのすばらしい作品を目の当たりにして、皆さんすばらしいという感想を持ってお帰りになられたという形でございます。以上でございます。

○長谷川委員 この時期たくさん行事があったりとか、ちょうど中学校だと部活動とか新人戦のころだと思うのですけれども、児童生徒さんがもう少し見て、そこに出している子ではない児童生徒さんが見に来てもらえたらいいなと思うのですけれども、なかなかその作品を夏休み明けに校内で見るという機会が、今、場所を確保したりとか時間とかないと思うので、あればいいなというふうに思って申し上げました。ありがとうございます。

○羽場指導課長 済みません。なお、その後、県のほうに行きまして、県知事

賞、それから千葉市教育長賞という形で、素晴らしい結果をいただいたということで、それもあわせて報告させていただきます。

○倉部教育長 県に行っても随分頑張った賞をもらっています。この間作品発表があったのですけれども、実は賞の中に金賞、銀賞、銅賞と、もう1つある。緑の札が張ってある手賀沼賞、これもなかなか素晴らしいです。この間、発表会があったのですけれども。そのうちの1人は、小学校1年生から中学校3年まで手賀沼をテーマとして研究を続けてきたという子が特に選ばれましたけれども、そういうところも我孫子の特徴なのかなということで、素晴らしいなと思いました。

○倉部教育長 ほかに事務報告についていかがでしょうか。

○豊島委員 特にいいです。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。——特によろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、事務報告について質疑を打ち切ります。

次に事務進行予定について、質疑があれば許します。いかがでしょうか。

○蒲田委員 16ページの1番目「スポーツテスト2018」のことをお尋ねしたいと思います。これはどういう方が参加なさるのででしょうか。

○小林文化・スポーツ課長 18歳以上の方で、どなたでも構わないのですけれども、小学生とか中学生でスポーツテストを行っていますが、その大人版です。ことして3回目なのですが、過去2年間100人程度ずつ、結構御高齢者が多くて、文科省のほうでは65歳までということをやっているのですが、中には70歳とか80歳の方がいらっしゃって、やらせてくれということやられる方もいらっしゃいます。徐々にこういうことをやっていって、市民の体力向上につながればということで企画しております。

○蒲田委員 ありがとうございます。本当に御高齢の方がそれなりに参加され



ているということは理解できたのですけれども、どういう方が、筋肉痛になるようなスポーツテストに参加なさるのかなと思ったものですから、それでお尋ねしました。結構きついことをしていると思ったので。

○小林文化・スポーツ課長 年代で区切られているのですけれども、御高齢者の方はそれなりにというか、片足立ちとか、6分間でどのくらい歩けるかとか、そういった日常生活でできるようなことなのですから。結構今、市民体育館のほうでもトレーニングルームは御高齢者の方がすごく利用者が多くて、その方たちが成果を見てみたいとか、毎年来ていただいて自分はどうなっていくのかなといったところで、うまく持って行っていただける方がいらっしゃいます。年齢に合ったきつくないメニューでやっていますので、すごく走ったりとか、そういったハードなメニューは若い方たちがやります。

○蒲田委員 ありがとうございます。どんなふうにするのかなと思って、私も参加できるのかなというふうにちょっと安心はしました。いろいろな市民の方が楽しめるようなことが1つでも多くあれば、体を動かして成果があるとか、そういうことがあるととても励みにもなると思いますので、これからもよろしく願いいたします。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。

○長谷川委員 1つだけ教えていただきたいのですけれども、3ページの指導課の3番目「第72回東葛地方中学校駅伝競走大会 写真展」なのですから、我孫子では11月8日から11月15日ということですから、これはたしか東葛地区を巡回するかと思うのですが、もし御存じでしたら、ほかのところで開催する日にちがわかりましたら、教えてください。

○羽場指導課長 済みません。この後、資料をお持ちします。申しわけございません。

○倉部教育長 後ほど皆さんに報告してください。お願いします。

本来沿線の4市にしか来ないのですけれども、我孫子が外れているということで、あえてアビシルベでやっていますので。

ほかにいかがでしょうか。事務進行予定はよろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。事務進行予定についての質疑を打ち切ります。

次に教育事業全般について質疑あるいは御意見があれば、よろしくお願いたします。

○豊島委員 「繫」の199号と何通かありますけれども、そこで沼津市の小中学校の中堅教員及び指導主事が来られたということで、布佐小学校、布佐南小学校、布佐中学校の小中一貫に関する交流の授業に関してです。

これはいいことだなと思います。我々がやっている小中一貫教育というのは全国で進んでいますけれども、それを沼津の先生方あるいは指導主事の方が見に来ているということはいいなというふうに思います。

我々も、ここ何年かは行っていませんけれども、秋田のほうに行ったり、いろいろなところに行っていました。お金はかかるのですけれども、何で秋田のほう、何で富山のほうがいいのかというのは、教育のほうですけれども、それはやはり見ていく必要があるというふうに思います。今、先生方の働き方改革をやっているのですけれども、これも地域によって本当に進んでいるところもあれば全然考えていないところもある。進んでいるところはそれなりに一生懸命工夫しながらやっているわけで、そのことのためにも我々もあるいは先生方も、あるいはいろいろな方も、自分に関係のあるそういうことをやっているところには積極的に見学に行くというふうなことがあったほうがいいのかというふうに思って、沼津市の人 came たんだということで「繫」の199号を読ませてもらったので、その感想です。

○倉部教育長 ありがとうございます。実際に沼津市がいらしたときの状況などを、羽場小中一貫教育推進室長。

○羽場小中一貫教育推進室長 沼津市のほうですけれども、うちと同じように来年度から小中一貫教育を展開するということになっているのですが、実は準備期間がかなり少ない中で始めるということで、一言で簡単に言うと非常に焦っていらっしやいまして、実は沼津市には小中一貫校というのがあるのですけれども、そこについてはいいのですが、ほかのところと差がかなりあるということで来られました。その中で我孫子市の取り組みの中で、「あー」と言われていたのが、私たちも最初はそういう発想はなかったのですが、中学校のほうに小学校の子供たちが行くという場面です。普通であると教室がないのではないかという発想が出てくるのですが、アドバイスをいただきまして、中学校の生徒たちが、どこかの学年が郊外学習であるとか、何かの学習で出ている場合が当然ございますので、そのときにその教室が空きますので、小学校の子供たちがその教室を使って授業を受けるという話をしましたら、目からうろこだと言われていまして、そういう使い方もあるのかということで、ぜひ参考にしたいということもおっしゃっていました。

あと、うちは、バスのほうで特に布佐南小学校さんのほうが布佐中学校に移動しているのですが、そのことにつきましても予算措置も含めて非常に参考になりましたということで、ほとんどが中堅教員の先生方なのですが、あと市教委の中の指導の方も見ていかれまして、うちも小中一貫ということにつきましては情報が欲しいので、今後こちらからも情報をお願いすることもあると思いますのでということをお伝えしました。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。これから始めようとしているところも、いろいろな工夫が必要だと思いますけれども、私から、それぞれの中区でランドデザインを今現在つくっているところだと思いますけれども、その辺の進

捗状況がもしわかれば教えていただきたいのですが。

○羽場小中一貫教育推進室長 お答えします。布佐中学校区につきましては先行しておりますので、それについては形は大体できているのですが、あとほかの地区につきましても、ほぼ皆さん形ができてきておりまして、今、各中学校区の中で最終的にどうしていこうかということを図っております。当然のことながら、各中学校で目指す15歳の姿というところをもとにしながら、各中学校区に合った形でグランドデザインをつくられておりますので、見ますと多少の特色が出ているという形になっておりますが、この後検討されまして、今年度中には皆さんのほうに御報告できるのではないかと考えております。以上です。

○倉部教育長 来年度一斉スタートといたしますか、全ての条件がそろったということでの我孫子市の取り組みですので、滞りなくうまくそれぞれの中区での特徴を生かした小中一貫教育がスタートできるように、これからも引き続き指導課のほうでよろしく願いいたします。

ほかに教育全般についていかがでしょうか。

○長谷川委員 文化・スポーツ課になるかと思うのですけれども、めるへん文庫、今年度分と言えればいいのか、第17回の募集がそろそろ終わったかなと思うのですけれども、応募作品はどれくらい集まったのかとか、もしわかりましたら教えてください。まだ集計できなかつたら、また今度のときに。

○小林文化・スポーツ課長 もう終わっています。まとめたものはありますので。

○倉部教育長 件数だけだったらわかると思いますので。

実は毎回私も全部読んでいますのですけれども、件数が多くて、ようやく小学校の部を読み終わって今中学校なのですけれども、中学校の部が小学校の4倍ぐらいあります。高校の部はいつもよりも多いです。いつも3部から4部ぐら

い、多くて5部ぐらいだったのですけれども、大分ふえてきたなということで、内容については……。それから他市からもふえてきていますね。いい傾向かなというふうに思っております。

○小林文化・スポーツ課長 今回、公募専用の情報誌があるので、そこに載せたら市外からも応募があったと、担当のほうからもありました。

○倉部教育長 大体ああいうのはサイトがありまして、何月にどのような応募があるというのが一覧表になっているところを見ながら、いろいろなところに応募する子たちは見てきているのかと。

○辻文化・スポーツ課主幹 今年度で277件です。昨年度が180件ほどです。大分ふえているという状況です。

○長谷川委員 ありがとうございます。

○倉部教育長 いつ読み切れるか、ちょっと不安を持っておりますが。めるへん文庫については、徐々に古登さんの意思も広がってきたなと思いますし、昨年小学校の部でしたでしょうか、一席は各務原市の小学生でした。徐々にそういうものが広がっていけば、我孫子市のめるへん文庫が全国規模になっていくのかなという期待があると思いますし、いずれは文学賞作家が生まれるのではないかと期待しております。

ほかにいかがでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 それではないものと認めます。教育事業全般に対する質疑を打ち切ります。

---

○倉部教育長 以上で平成30年第10回定例教育委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

午後2時26分閉会